

12 まちの美化のために ストリカル ストリカ

不法看板撤去連絡協議会と JR 阪急駅前花壇の会が行っていた景観美化をきっかけに、今回が 11 回目の開催。装飾を手伝った川西中学校の生徒も見守る中、約2万5,000個のイルミネーションを点灯しました。開催は1月17日州まで。



11/_{楽しい}子育て_を応援

市内で子育て支援活動をしている関係機関が集まる子育てフェスティバルに、約700人が来場。人形劇や手遊び、魚釣りゲームなどの催しに、子どもたちは笑顔を見せ、保護者は子育て情報に耳を傾けていました。



鳥取県八頭町との交流を進めて、地域の活性化につなげていこうと、けやき坂中央公園で新鮮な野菜や果物、パン、雑貨を販売。今回で4回目を数えるイベントに、たくさんの地域住民が訪れ、ふれあいカフェもにぎわいを見せていました。



12 駅前に幻想的なイルミネーション テーマは「手をつなぐ川西光の和」

阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅南側のバスロータリー中央庭園や歩行者用デッキ2階付近で、川西ライオンズクラブと市中心市街地活性化協議会が中心となりイルミネーションを実施。1月31日(水まで、午後5時-10時に点灯されます。



12/クマザサの収穫が最盛期

神棚などにお供えされる、クマザサ。松竹梅の竹の代わりに、松や梅、ナンテン、葉ボタン、ウラジロなどとともに門 松の材料としても使われることも多く、お正月に重宝されています。



11 地域で楽しい1日を 4 「かっちゃちもろい野にする」を全意策に関係

緑台・陽明コミュニティのグリーンハイツ青年部が、地域のお店などに協力を呼び掛け、水明台第5公園で「おさんぽマルシェ」を開催。子ども連れの家族などで会場は盛り上がっていました。



12 もしもに備える_{救命講習} 「Push!Push!Push!ひろめよう救命の輪inかわにし」

アステホールで、心肺蘇生法や AED の使用方法を体験するイベントを開催。参加者は自主防災組織、福祉施設の関係者など9~80歳の114人で、初めて心肺蘇生法を体験した人も熱心に実技に取り組んでいました。



11 子どもたちのため**遊具を寄贈**

子どもたちが公園に行く楽しみが増えるようにと、萩原台子ども会が幼児用のパンダのスイング遊具を寄贈。市から感謝状が贈られました。公園では、早速その遊具で遊ぶ子どもたちの笑顔が見られました。



11 古田さんがチャリティゴルフ

名誉市民でプロ野球東京ヤクルトスワローズの元選手兼監督の古田敦也さんが、市少年軟式野球連盟主催の「古田敦也チャリティゴルフ大会」に参加。収益金は「野球を通じ、青少年の健全な育成のために」と同連盟に寄贈されました。



1/2,500人が健脚競う

晩秋の川西市北部の知明湖周辺を舞台に行われた同大会に、市民をはじめ、全国各地からランナーが参加。また、ハーフマラソンの部には毎日放送アナウンサーの山中真さんがゲストで緊急参加し、大会を盛り上げました。



1/2 音楽と絵本のコラボ

「絵本をめぐる冒険へ一どうぶつ句会」をテーマに「あらしのよるに」などで知られる絵本作家のあべ弘士さんが、チェンバロ奏者の明楽みゆきさんの演奏に乗せ、読み聞かせを披露。6回目の開催となった今回、約120人の親子が集まりました。



11 まちの魅力を動画で伝えるアステ市民プラザで「ひと・まちま」」 セミナー

3回にわたり、まちの魅力を伝える動画作りを学んできた 同セミナーの最終回を開催。学びの集大成として、10~90 代の参加者が市を題材にした手作り動画を披露しました。今 後、市のプロモーションサイトで公開予定です。

